

REPSE 登録実践ガイド

専門サービスまたは専門工事提供者登録－STPS

REPSE は、専門サービスまたは専門工事を提供する個人または法人が、メキシコ労働社会保障省（STPS）に対して行う義務的な登録です。適切な登録および維持は、契約企業側が費用を損金算入し証明するための条件であり、労務および税務上のリスクを回避するためにも重要です。

1. 登録が必要な者

専門サービスまたは専門工事を提供し、他社（受益企業）に労働者を配置するすべての個人または法人。ただし、その活動が契約企業の事業目的と異なる場合に限りません。

2. プロセスの主なステップ

- 法人および税務関連書類を整える（定款、委任状、税務状況証明書、コンプライアンス意見書）。
- 登録する専門活動を、事業目的に沿って正確に特定する。
- STPS のプラットフォームに必要書類を準備しアップロードする。
- 専門活動ごとに質問票に回答する。
- 登録の受付確認を取得し、情報およびコンプライアンス意見書を最新の状態に保つ。

3. 主な必要書類

- 税務状況証明書（Constancia de Situación Fiscal）
- 肯定的コンプライアンス意見書（SAT、IMSS、INFONAVIT）
- 定款の完全版および法定代理人の委任状
- 登録する活動を強調表示した事業目的
- 個人または法人の電子署名（FIEL）
- 雇用主識別カード（TIP）
- 法定代理人の公的身分証明書
- 税務住所証明書
- 給与明細および SUA 証明書

すべてのファイルは 2MB 以下とする必要があります。警備会社の場合は、該当する許可証も必要です。

4. 指摘または却下につながりやすいよくある誤り

- 事業目的と一致しない活動を登録する。
- 不完全、判読不能、または容量超過の書類をアップロードする。
- 有効かつ肯定的なコンプライアンス意見書を有していない。
- 活動ごとの質問票に一般的または一貫性のない回答をする。
- 活動や法人情報が変わった際に登録を更新しない。

5. 推奨

REPSE 登録は単なる行政手続きではありません。活動の分類を誤ったり、書類が不十分であったりすると、STPS からの指摘、契約企業側での費用の損金算入不可、および労務上のリスクが生じる可能性があります。

登録を開始する予定がある場合、指摘事項が残っている場合、または登録する活動の範囲を確認する必要がある場合は、専門的な支援を受けることを推奨します。

本資料は参考用です。個別事案の分析や登録プロセスの支援に代わるものではありません。

